

## スポーツウエルネス学研究科教育課程編成の方針

### ■博士課程前期課程

前期課程では、学位授与の方針に沿って、以下のとおり30単位を修了要件とした教育課程を編成している。これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および修士論文審査基準によって評価する。

リサーチワーク(10単位修得)は、「研究基礎」「プロジェクト研究」および「研究指導1~3」で構成される。「研究基礎」は、学位授与方針に掲げる(1)基礎的知識や研究倫理を身に付けるため、「プロジェクト研究」は、(3)スポーツ並びにウエルネスに関わる様々な課題を対象として総合的に研究する能力を身に付けるため、必修科目として配置する。

また、「研究指導1~3」は、学位授与方針に掲げる(2)論文(修士論文)を執筆し、適切に発表する能力及び(3)専門的な理論、知識、技能を修得し、実践的に運用できる能力を養うために、必修科目として配置し、研究指導教員による修士論文を作成するための指導を行う。

さらに、研究指導における上記(3)の養成を補完するため、コースワーク(20単位以上修得)は、スポーツ分野及びウエルネス分野の2分野からそれぞれ8単位以上の修得が必要である。

スポーツ分野では、すべての人間の適応可能性を広げ、スポーツパフォーマンスの向上と高度なスポーツ文化の創造に寄与するスポーツ科学的知見を身に付けるため、「スポーツウエルネス研究3(トレーニング科学、コーチング)」、「スポーツウエルネス研究6(スポーツ栄養学)」、「スポーツウエルネス研究7(スポーツ医学)」、「スポーツウエルネス研究9(バイオメカニクス)」、「スポーツウエルネス研究10(スポーツ・運動心理学)」、「スポーツウエルネス研究11(スポーツ方法学)」等の授業科目を配置する。

ウエルネス分野では、幸福で充実した人生を送るために、より創造的に心身の健康を探求し、維持・発展をめざすウエルネス科学的知見を身に付けるため、「スポーツウエルネス研究1(スポーツ社会学)」、「スポーツウエルネス研究2(野外教育、環境教育)」、「スポーツウエルネス研究4(環境生理学、神経科学)」、「スポーツウエルネス研究5(ウエルネスジェンダー学)」、「スポーツウエルネス研究8(健康心理学)」、「スポーツウエルネス研究12(分子細胞生物学)」等の授業科目を配置する。

### ■博士課程後期課程

本課程では、学位授与の方針に沿って、指導教授・副指導教員による研究指導(リサーチワーク)と選択科目(コースワーク)を組み合わせる教育課程を編成している。これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および博士論文審査基準によって評価する。

リサーチワークは授業科目として設定しないが、学位授与方針に掲げる(1)高度な専門性、研究を行うための専門的な手法、高度な研究倫理、(2)学術的な貢献度の高い論文(博士論文)を執筆し、国内外の学会に発表する能力、(3)専門的な業務に従事するために必要な高度な研究能力及び社会で先導的に実践する能力を養うために、博士論文の作成のための指導教

員による研究指導を受けることになる。

研究指導では、指導教授とそれ以外に2名の副指導教員から指導を受け、スポーツ分野またはウエルネス分野に関するテーマを設定するとともに、学術的に高度な知見を提出するための専門的知識と方法論的知識および批判的視点を得ることで、質の高い博士論文の完成を図る。その際、副指導教員2名はスポーツ科学分野、ウエルネス科学分野から各1名によって構成する。また、「研究指導基本スケジュール」に則り、3回にわたる審査会で発表をすることで、博士論文の作成を計画的に行う。審査会の第3回目となる予備審査会の開催にあたり、学会発表を含む一定の研究業績が求められる等の客観的基準を設定されることで、博士論文の作成のための段階的な目標とする。

また、研究指導における上記(3)の養成を補完するため、コースワーク(6単位以上修得)は、スポーツ分野及びウエルネス分野の2分野からそれぞれ2単位以上の修得が必要である。

スポーツ分野では、すべての人間の適応可能性を広げ、スポーツパフォーマンスの向上と高度なスポーツ文化の創造に寄与するスポーツ科学的知見を身に付けるため、「スポーツウエルネス研究3(トレーニング科学、コーチング)」、「スポーツウエルネス研究6(スポーツ栄養学)」、「スポーツウエルネス研究7(スポーツ医学)」、「スポーツウエルネス研究9(バイオメカニクス)」、「スポーツウエルネス研究10(スポーツ・運動心理学)」、「スポーツウエルネス研究11(スポーツ方法学)」等の授業科目を配置する。

ウエルネス分野では、幸福で充実した人生を送るために、より創造的に心身の健康を探求し、維持・発展をめざすウエルネス科学的知見を身に付けるため、「スポーツウエルネス研究1(スポーツ社会学)」、「スポーツウエルネス研究2(野外教育、環境教育)」、「スポーツウエルネス研究4(環境生理学、神経科学)」、「スポーツウエルネス研究5(ウエルネスジェンダー学)」、「スポーツウエルネス研究8(健康心理学)」、「スポーツウエルネス研究12(分子細胞生物学)」等の授業科目を配置する。評価にあたっては、前期課程より高度な達成水準を要求する。